

掲示板のことば

親鸞聖人

光明なり

阿弥陀仏は

2022. 05

私たち浄土真宗のご本尊は「南無阿弥陀仏」です。本来、姿・かたちのないものです。でも、それでは私たちには分からないので、仮に姿となって表現されているのが木像や絵像となった「阿弥陀仏（阿弥陀如来）」です。

ご本尊、本当に尊いことは、目には見えない「はたらき」なのです。

その「はたらき」を親鸞聖人は、「光明」つまり「光」だと言われるのです。本当に尊いことは、私たちを照らす光だと言われるのです。

光は目には見えません。部屋の電気や地球上にある太陽の光は、反射です。光そのものは私たちの目には見えないのです。例えば月が見えるのは、太陽に照らされているからです。横から照らされれば半分に見えますし、私たちの後方から照らされれば、丸く見えます。でも、月までの太陽の光の軌跡は見えませんよね。

太陽の光は、照らされたものの上に、その姿、はたらきを表します。光そのものは見えないのですが、私たちにあるがままの姿を知らせてくれます。

親鸞聖人は、阿弥陀仏の光は智慧（教え）だとも言われます。仏の教えは目には見えませんが、照らされたもの、つまり、私たちの上にその姿はたらきを表すのでしょ。私たちが何に迷い、何に苦しみ、何を求めているのかが、はっきりと知らされるのです。教えに照らされ見えてくる姿が、本当の私なのでしょ。

その、「本当の私」を知らせてくれるはたらきに、仏陀は「阿弥陀仏」と名付けたのです。そしてそのはたらきに感謝する心が「南無阿弥陀仏」なのです。

真宗大谷派 光明寺住職 小林尚樹